

4

黒色酵母、赤色酵母真菌の簡易鑑別法および抗真菌薬感受性の検討

◎佐子 肇¹⁾、羽月 香子¹⁾、齋藤 晴子¹⁾、大江 則彰¹⁾
独立行政法人 国立病院機構 刀根山病院¹⁾

【はじめに】医療環境および生活環境から分離される真菌には黒色酵母および赤色酵母がある。前者は黒色のメラニン色素を、後者は赤色のカロチノイド色素を産生することにより、食細胞の貪食殺菌作用に抵抗性を有すると考えられている。化学療法後の免疫低下状態では、肺炎、真菌性角膜炎および菌血症が問題となる。今回我々は、黒色酵母および赤色酵母の簡易鑑別法および抗真菌薬剤感受性について検討した。【対象および方法】供試菌は *Rhodotorula* 属 8 株、*Sporobolomyces salmonicolor* 1 株、*Aureobasidium pullulans* 2 株および *Exophiala dermatitidis* 6 株の計 17 株を用いた。同定法は CHROMagar カンジダ培地(BD)、サブロー寒天培地(BD)、ポテト寒天培地(日水)および自家調整 1%グルコース加 BHI 寒天培地(以下 BHI)の発育性状とスライド培養法による形態学的性状、反転平板培養法および尿素反応(栄研)を試みた。抗真菌薬剤感受性試験は ASTY (極東)の添付書に従って、微量液体法にて MIC 値を 35°C、好気培養 3~4 日後に判定した。【結果および考察】供試菌は発育性状および形態学的性状から属レベルまでの同定が可能であっ

た。*Rhodotorula* 属および *S. salmonicolor* は性状が類似しているため反転平板培養法が鑑別に有用であった。E. *dermatitidis* および *A. pullulans* の発育性状はよく似ており、前者は BHI で溶けたチョコレート様酵母集落に発育し、後者はムコイド状から次第に黒色集落に発育し、前者は菌糸側壁の突起部から分生子を生じるのに対し、後者は 1)小型の楕円形の分生子と 2)暗色で壁は厚く連鎖状を示す 2 つの形態を示した。尿素反応は供試菌すべて陽性を示したので、他の酵母真菌との鑑別に有用であった。*Rhodotorula* 属および E. *dermatitidis* の薬剤感受性は MCFG が MIC>16μg/mL とすべて耐性であった。FLCZ は MIC16~>64μg/mL と耐性傾向を示した。*Rhodotorula* 属の薬剤感受性は FLCZ の同系薬である ITCZ、VRCZ などのアゾール系薬に対して高い MIC を有する株もあるので、治療の際に注意が必要である。【まとめ】検討に用いた菌株は発育性状および形態学的性状から菌種の鑑別が可能であった。血流感染および呼吸器感染患者から検出された際、適切な抗真菌薬選択に感受性試験は重要であると考えられた。